

統計調査ニュース

令和7年（2025年）11月

No.468



令和7年国勢調査 調査終了の御礼とお願い

総務省統計局統計調査部長

阿向 泰二郎

令和7年国勢調査は、調査書類の配布開始の直前に、国勢調査を装った不審なメールが送付される事案が全国で多発し、注意を呼び掛けるところからのスタートとなりました。そうした中、地方公共団体の皆様におかれましては、積極的に注意喚起を行っていただき、調査の円滑な実施に多大な御協力を賜り、お蔭様で無事に調査を終了することができました。改めて、心より御礼申し上げます。

今回の国勢調査では、インターネット回答率50%の達成を目指して、二次元バーコード読み取りによる自動入力機能の実装や郵便局での回答支援ブースの設置など、様々な取組や広報の充実・強化を進めてまいりました。地方公共団体におかれましても、地域の特色を生かした独自の広報・啓発事業の実施や、首長からのインターネット回答の呼び掛けなど、様々な形でインターネット回答の促進に御尽力いただきました。改めて、深く感謝申し上げます。

その結果、10月27日までのインターネット回答

数は2,600万世帯を超え、前回調査の世帯数を基に算出したインターネット回答率（試算値）は48.2%となりました。目標としていた50%には僅かに届かなかったものの、前回実績（37.9%）よりも10.3ポイント上回る結果となっており、インターネット回答の更なる定着が図られたものと考えております。調査関係者の皆様のこれまでの御尽力に、重ねて御礼申し上げます。

現在、市区町村において、提出された調査書類の審査が続いているところと存じます。国勢調査の結果は、我が国の少子高齢化や外国人との共生、人々の仕事や住まい等について、全国・地域ごとの最新の状況を表すものであり、国・地方公共団体はもちろん、国民の皆様にも幅広く利用される重要な情報基盤です。今回の調査結果を確かな数値として国民の皆様にも還元できるよう、引き続き公表に向けてしっかりと取り組んでまいります。調査関係者の皆様におかれましても、今後とも変わらぬ御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

目次

令和7年国勢調査 調査終了の御礼とお願い……………	1	統計研修生募集の御案内	
「2025年度 統計関連学会連合大会」等に参加して……………	2	ー 令和7年度第4四半期(令和8年1～3月)ー……………	4
令和7年度登録調査員中央研修を開催しました……………	3	統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を御活用ください!	
		／「令和7年秋の叙勲」……………	5

「2025年度 統計関連学会連合大会」等に参加して

統計局、政策統括官（統計制度担当）及び統計研究研修所は、統計技術の研究その他統計の改善発達に資することなどを目的として、統計関連の6学会に団体会員として加盟し、毎年、各学会が主催するいくつかの大会において、研究成果を発表し、情報発信を行っています。

ここでは、9月に「2025年度統計関連学会連合大会」及び「経済統計学会（第69回）全国研究大会」が開催されましたので、その概要を紹介します。

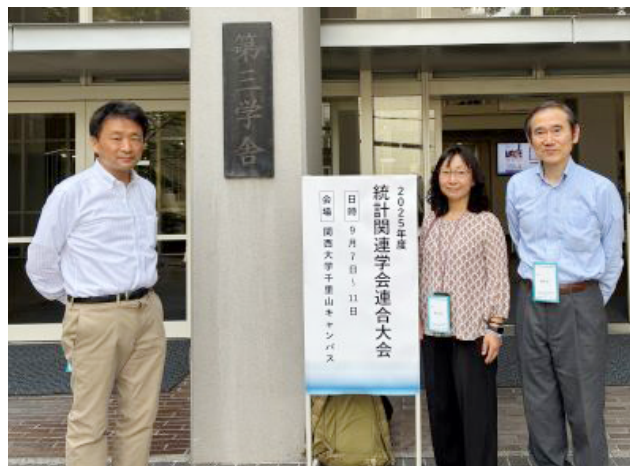
I 2025年度 統計関連学会連合大会

9月7日（日）から9月11日（木）にかけて、「2025年度統計関連学会連合大会」が関西大学千里山キャンパス（大阪府吹田市）において開催されました。

今年度の大会の構成は、以下のとおりです。

チュートリアルセッション、市民講演会、コンペティション講演（39件）、企画セッション（35件）、一般講演（36件、約190報告）、他

統計局、政策統括官（統計制度担当）及び統計研究研修所からは、以下のテーマについて、発表講演を行いました。（敬称略）



発表者ら（関西大学にて）

【9月8日（月）】

15:30 ～ 17:30 企画セッション：公的統計の二次利用の新展開とプライバシー保護研究の最新動向

○公的統計における調査票情報提供の最新動向

小松 聖（統計局総務課）

【9月9日（火）】

13:00 ～ 14:20 一般講演：ロバストネス

○補完のためのロバストな比率モデルの一般化
和田 かず美（統計研究研修所）

15:30 ～ 17:30 一般講演：計量経済・ミクロデータ解析

○国勢調査を対象にした差分プライバシーの実用性に関する検討 - Zero-Concentrated Differential Privacy (zCDP) に着目して -

加藤 駿典（統計研究研修所）

伊藤 伸介（中央大学）

寺田 雅之（NTTドコモ・京都橋大学）

松井 秀俊（滋賀大学）

【9月10日（水）】

13:00 ～ 14:40 一般講演：疫学統計（1）

○高齢期生活満足度の高低要因調査

黒岩 美幸、齋藤 恵一（政策統括官

（統計制度担当））

各賞授賞式の企画セッションでは、元統計局長の川崎茂氏が公的統計の作成・推計・分析等における改善・発達に多大な貢献をしたことにより、第5回日本統計学会中村隆英賞を受賞されました。また、独立行政法人統計センターが教育用標準データセット（SSD-SE）の作成と普及など統計教育において顕著な実績を残したことにより、第21回日本統計学会統計教育賞を受賞されました。

II 経済統計学会（第69回）全国研究大会

9月12日（金）から9月13日（土）にかけて、「経済統計学会（第69回）全国研究大会」が中央大学多摩キャンパス（八王子市）において開催されました。

今年度の大会の構成は、以下のとおりです。

企画セッション（9件）、自由論題（2件、6報告）、他

統計局からは、以下のテーマについて、発表講演を行いました。

【9月12日（金）】

15:30 ～ 17:40 企画セッション：令和7年国勢調査の実施に向けて

○令和7年国勢調査を巡る課題と対応

中村 英昭（統計局統計調査部国勢統計課）



発表講演を行う中村国勢統計課長

令和7年度登録調査員中央研修を開催しました

総務省政策統括官(統計制度担当)室では、統計調査員となる意思を有する方をあらかじめ登録(以下「登録調査員」という。)し、統計調査員の円滑な人材確保に資するとともに、研修等によりその資質の向上を図る人材育成を目的とした「統計調査員確保対策事業」を実施しています。「登録調査員中央研修」は、この事業の一環として実施しており、地域において中核的・指導的な役割を担う登録調査員の資質の向上及び地域の枠を越えた相互交流を目的としています。

令和7年度は、7月23日(水)に全国から登録調査員53名、都道府県及び市町村の職員20名、計73名に御参加いただき、集合型(総務省第2庁舎)及びオンライン型(Webex)による同時開催を行いました。

1 挨拶

研修の開催に当たり、統計企画管理官室 大嶋調査官から国の各種統計調査実施の最前線を担ってこれた参加者に対し、お一人おひとりの努力の積み重ねによって集めていただいた調査票から得られる貴重なデータが、政策判断の基礎になっていることなど、これまでの御尽力に対する感謝を伝えました。

2 講義「統計調査に活かすコミュニケーション研修」

株式会社ビズアップ総研 堀正輝氏に講義をしていただきました。

説得力のある説明の手法として、PREP(プレップ)法を使用した分かりやすい説明の構成や効果的な質問の仕方、調査員活動で想定されるトラブルへの対応方法を事前に準備し、回答できるようになるためのアサーティブ(自他を尊重すること)な自己表現法(DESC法)等についての説明とともに、参加者による実践も取り入れ、調査員としての資質のレベルアップを図りました。

参加者のうち、登録調査員からは「短時間で簡潔に説明するコツを学べたことは良かった。PREP法を意識して調査活動に活かしたい。」「DESC法を取り入れ、相手の怒りに巻き込まれず、アサーティブな自己表現による怒りの原因に即した適切な言葉選びを取り入れていきたい。」「Yes、Noからではなく、Yes、Yesの選択肢から選んでもらう手法は参考になった。」、地方公共団体職員からは「調査員に向けての説明会では「調査時の話法」を取り上げてほしいとの要望があるため、訪問時の説明法やトラブル発生時の対応方法を学べてよかった。」といった感想が寄せられました。

3 講義「オンライン回答に関する講義・デモ」

政府統計オンライン調査総合窓口を使用したオンライン回答について、当室職員がパソコンで実演しながら説明を行いました。また、講義の進行に合わせて参加者自身のスマートフォンやタブレット端末からオンライン回答の操作を体験していただきました。「自身で経験が無いのにオンライン回答を勧めることは不安だったが、簡単にできることが分かり安心した。」「意外と簡単にできることを広めたい。」という感想をいただきました。



オンライン回答 体験の様子(東京会場)

4 班別討議及び討議内容の発表

班別討議は、「調査活動において成功した事例、成功するに至った工夫」「調査活動において困った事例、困難だった事例」をテーマに都道府県を越えた相互交流を図るため、14班に分かれてグループワークを行いました。Webexのブレイクアウトセッションを活用し、Web参加の皆様にも他県での体験や課題等を共有し、解決策について議論を行っていただきました。「他地域の状況や対応が勉強になった。」「県によってアプローチが似ているところ、違うところがあり参考になった。」との声が聞かれました。



班別討議の様子(東京会場)

今回の研修が参加者の皆様にとって、今後の統計調査員活動や、統計調査員支援・指導のための一助となれば幸いです。

来年度もより良い研修を開催できるよう、御参加の皆様から寄せられた声を踏まえて工夫してまいりますので、機会がございましたら是非御参加ください。

▶▶▶ 統計研修生募集の御案内 ◀◀◀
— 令和7年度第4四半期(令和8年1～3月)—

総務省統計研究研修所では、国・地方公共団体の職員（教員を含む。）及び政府関係機関の職員に対し、統計リテラシーの向上などを目的として、様々な研修を実施しています。

令和7年度第4四半期（令和8年1～3月）に実施する研修は下記のとおりです。研修内容の詳細や募集締切りについては、府省等、都道府県及び市区町村に別途送付する「統計研修の募集要項」又は統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を御覧ください。

令和7年度第4四半期に実施する研修について

	研修課程名	主な対象者	開催時期	実施方法	研修概要
業務レベル別研修	統計データアナリスト研修（上級コース）				
	統計データアナリスト研修	・「統計利用の基本」、「調査設計の基本」及び「統計分析の基本」修了程度の知識がある者 ・国家公務員のうち、統計データアナリスト認定を目指す者、又は、統計データアナリスト補認定を受けている者	2月上旬～3月上旬のうち4週間	オンライン	統計の根拠法令、品質管理、統計精度の担保など管理者に必要な知識を学ぶ
	統計実務職員（統計データアナリスト補）研修（中級コース）				
	統計利用の基本	・「初めて学ぶ統計」及び「統計担当者向け入門」修了程度の知識がある者 ・国家公務員のうち、統計データアナリスト、統計データアナリスト補認定を目指す者	1月下旬～3月上旬のうち4週間	オンライン	既存のデータやグラフから要因、結果、状況を読み解く手法を学ぶ
	調査設計の基本				統計調査の企画立案、調査設計の流れ、根拠法令を学ぶ
	統計分析の基本				自身でデータを分析、考察する際に必要な統計的分析手法を学ぶ
	統計取扱業務担当職員向け研修（初級コース）				
	統計担当者向け入門	・「初めて学ぶ統計」修了者及び同程度の知識がある者 ・新規採用職員、統計初学者	1月下旬～3月上旬のうち4週間	オンライン	統計行政関係部署に新たに就いた者にとって必要な、統計データの入手、グラフによる可視化、利用の仕方を学ぶ
	初めて学ぶ統計	新規採用職員、統計初学者			これから統計利用を始める者にとって必要な、基礎的な統計リテラシー、統計制度を学ぶ
	分野別研修	データ利活用コース			
政策立案と統計		・EBPMに興味のある者 ・施策立案部門の担当者	1月下旬～3月上旬のうち4週間	オンライン	政策立案と統計の関連性を学び、PDCAサイクルにおける統計の重要性を認識するとともに、実務における統計データのいかし方を学ぶ
政策評価と統計					PDCAサイクルにおける政策の事後的評価の観点から、統計の活用方法を学び、またアンケートによる効果測定の際に必要な基礎知識を習得する
ビッグデータ利活用－基礎から応用まで－		ビッグデータの利活用に興味のある者			データの分析手法、可視化についての実例及びビッグデータからデータ分析する意義、目的について学ぶ
データサイエンス入門		データサイエンス初学者			統計学の基礎やデータの見方等、データ分析の基本的な知識を学習し、身近なデータの活用に役立てる
データサイエンス演習		データサイエンス入門の受講者・修了者			ビジネス上での分析事例を中心に実践的なデータ分析（統計分析）の手法を習得する
誰でも使える統計オープンデータ		オープンデータをこれから利用する者			e-Statの使い方など、公的統計データの入手の仕方からオープンデータの利用方法を学ぶ
統計作成実務コース					
国民・県民経済計算		国民経済計算、県民経済計算の担当者	1月下旬～3月上旬のうち4週間	オンライン	実務担当職員の基礎知識として、国民経済計算、県民経済計算についての推計方法、分析手法を学ぶ
産業連関表の作成・分析		産業連関表の担当者			実務担当職員の基礎知識として、産業連関表の作成手法、分析手法について、演習を通じて学ぶ
人口・経済統計コース					
経済予測		経済統計を用いた推計、分析をこれから行う者	2月上旬【5日間】	集合／ライブ	経済予測の基礎理論、マクロ経済モデル、ケインジアンモデル、生産関数による経済予測等を学び、エクセルを用いた演習を通じて経済予測手法への理解を深める
社会・人口統計の基本		「統計利用の基本」修了程度の知識があり、データ分析を用いた社会・人口統計分析をこれから行う者	1月下旬【3日間】	集合	社会・人口統計分析の基本について学び、統計解析ソフトR及びエクセルを用いたデータ分析の演習を通じて社会・人口統計分析への理解を深める
地域分析コース					
GISによる統計活用		GISを用いた分析をこれから行う者	2月下旬【3日間】	集合	GISの概要、GIS活用事例を学び、QGISやJSTAT MAPを用いた演習を通じて、GISによる統計活用方法への理解を深める
マイクロデータコース					
マイクロデータ分析－Rによる統計解析－		「調査設計の基本」及び「統計分析の基本」修了程度の知識があり、Rを用いたマイクロデータの集計・分析をこれから行う者	1月下旬【4日間】	集合	マイクロデータ分析と統計解析ソフトRの基礎、標本抽出法と標準誤差の評価について学び、Rを用いた演習を通じてマイクロデータ分析についての理解を深める
マイクロデータ分析のためのプログラミング－統計解析ソフトRの利用方法－		「統計担当者向け入門」修了程度の知識があり、かつ、R以外の他言語でのプログラミング経験があり、これからRを使用する者	3月上旬【2.5日間】	集合	統計解析ソフトRの一般的な使い方を、e-StatのAPI機能、一般用マイクロデータ、教育用標準データセット（SSDSE）等のテストデータやコードを用いた演習を通じて学ぶ
都道府県職員向けコース					
統計データアナライズセミナー	都道府県統計主管課職員のうち、「初めて学ぶ統計」及び「統計担当者向け入門」修了程度の知識があり、統計的分析に興味のある者	1月【1日】	ライブ	統計データを用いた分析業務に必要な知識を、グループワークを通じて学ぶ	

※ 各研修の日程、内容等は変更になる場合があります。

問合せ先 総務省 統計研究研修所 研修企画課
TEL 042-320-5874 E-mail o-kenkikaku@soumu.go.jp

統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を御活用ください！

総務省統計研究研修所では、統計研修担当者及び研修受講希望者の利便性を図るため、国家公務員及び地方公務員に向けた統計研修の受講案内等を掲載した統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」を開設していますので、積極的な活用をお願いいたします。

【統計研修ポータルサイト「統計研修ひろば」】

<https://t-kenshu-om.soumu.hq.admix.go.jp/portal/index.html>

※閲覧には、新府省間ネットワーク（GSS G-Net）、政府共通ネットワーク（G-Net）又は総合行政ネットワーク（LGWAN）に接続している必要があります。

〈トップページ〉



【掲載項目（主なもの）】

- 統計研修内容の御案内
(募集案内、開催予定、シラバス等)
- 研修受講記
- 受講申込方法
(募集要項、推薦書様式等)
- 自主学習用教材
- 統計研究研修所の概要

「令和7年秋の叙勲」

政府は、11月3日に、「秋の叙勲」の受章者を発令しました。

総務省における統計関係では、永年にわたり国勢調査を始め各種統計調査に調査員として従事し、調査実施に多大な貢献をした次の方々が、勲章の榮譽に浴されました。栄えある受章にお祝い申し上げます。

【勲章受章者】

○瑞宝単光章

水戸 和則
関谷 良広
伊藤 恒一
内野 とし子
児島 勝子
山畑 美恵子
上田 秀子
鈴木 和義
多田 利美
福留 憲子
松本 葉子
新倉 典子
堀 素美子
山本 幸恵
湯川 操
与田 好子

※敬称略

(宮城県)
(秋田県)
(山形県)
(埼玉県)
(埼玉県)
(埼玉県)
(千葉県)
(千葉県)
(千葉県)
(千葉県)
(東京都)
(神奈川県)
(神奈川県)
(神奈川県)
(神奈川県)
(神奈川県)

大越 みさ子
小熊 令子
秋山 恵美子
麻田 千鶴子
加納 京子
土屋 恵子
筒井 康子
中根 洋子
川合 美枝子
伊藤 比佐子
片山 美恵子
加藤 紀子
右田 朱実
友岡 幹子
船木 丸子
小野 道子

(新潟県)
(新潟県)
(長野県)
(長野県)
(岐阜県)
(静岡県)
(静岡県)
(愛知県)
(滋賀県)
(岡山県)
(広島県)
(山口県)
(山口県)
(福岡県)
(福岡県)
(宮崎県)

最近の数字

			人 口		労 働・賃 金			産 業		家計(二人以上の世帯)		物 価	
			総人口 (推計による人口)	就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		
											全国	東京都都区部	
千人(Pは万人)			万人	%	円	2020=100	兆円	円	円	2020=100	2020=100		
実数	2025.	5	123,342	6838	2.5	301,592	101.2	35.5	316,085	401,312	111.8	111.1	
		6	P 12336	6873	2.5	514,106	103.3	P 37.0	295,419	776,288	111.7	110.8	
		7	P 12330	6850	2.3	416,744	102.1	P 36.4	305,694	559,705	111.9	111.0	
		8	P 12330	6835	2.6	299,955	100.6	P 35.9	313,977	506,538	112.1	111.2	
		9	P 12317	6863	2.6	P 297,145	P 102.8	...	303,214	413,961	112.0	110.7	
		10	P 12321	...	...	...	...	...	...	...	...	P 111.8	
前年 同月比	2025.	5	-	1.1	* 0.0	1.4	* -0.1	5.8	4.7	2.6	3.5	3.4	
		6	-	0.7	* 0.0	3.1	* 2.1	P 6.3	1.3	-8.1	3.3	3.1	
		7	-	0.8	* -0.2	3.4	* -1.2	P 5.2	1.4	-4.9	3.1	2.9	
		8	-	0.3	* 0.3	1.3	* -1.5	P 5.7	2.3	1.9	2.7	2.5	
		9	-	0.7	* 0.0	P 1.9	* P 2.2	-	1.8	-0.6	2.9	2.5	

(注) P：速報値 *：対前月
家計（二人以上の世帯）の前年同月比は実質値

掲示板 統計関係の主要日程（2025年11月～2025年12月）

《会議及び研修関係等》

時 期	概 要	時 期	概 要
11月5日	オンライン統計研修【第3回】統計取扱業務担当職員向け研修「初めて学ぶ統計」開講（～12月2日）	11月12日	オンライン統計研修【第3回】統計作成実務コース「産業連関表の作成・分析」開講（～12月9日）
〃	オンライン統計研修【第3回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「統計利用の基本」開講（～12月2日）	19日	オンライン統計研修【第3回】統計取扱業務担当職員向け研修「統計担当者向け入門」開講（～12月16日）
〃	オンライン統計研修【第3回】データ活用コース「政策立案と統計」開講（～12月2日）	〃	オンライン統計研修【第3回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「統計分析の基本」開講（～12月16日）
〃	オンライン統計研修【第3回】統計作成実務コース「国民・県民経済計算」開講（～12月2日）	〃	オンライン統計研修【第3回】データ活用コース「データサイエンス演習」開講（～12月16日）
12日	オンライン統計研修【第3回】統計実務職員（統計データアナリスト補）研修「調査設計の基本」開講（～12月9日）	〃	オンライン統計研修【第3回】データ活用コース「誰でも使える統計オープンデータ」開講（～12月16日）
〃	オンライン統計研修【第3回】データ活用コース「政策評価と統計」開講（～12月9日）	〃	オンライン統計研修【第3回】統計データアナリスト研修「統計データアナリスト研修」開講（～12月16日）
〃	オンライン統計研修【第3回】データ活用コース「ビッグデータ活用－基礎から応用まで－」開講（～12月9日）	〃	第73回全国統計大会
〃	オンライン統計研修【第3回】データ活用コース「データサイエンス入門」開講（～12月9日）	12月16日	地域分析コース「地域分析」開講【集合】（～19日）

《調査結果の公表関係》

時 期	概 要	時 期	概 要
11月7日	家計調査(家計収支編：2025年9月分及び2025年7～9月期平均)公表	12月19日	人口推計(2025年7月1日現在確定値及び2025年12月1日現在概算値)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2025年9月分及び2025年7～9月期平均ICT関連項目：2025年7～9月期平均)公表	〃	令和6年全国家計構造調査(家計収支に関する結果)公表
〃	消費動向指数(CTI)2025年9月分及び2025年7～9月期平均公表	22日	サービス産業動態統計調査(2025年10月分速報及び2025年7月分確報)公表
〃	小売物価統計調査(ガソリン)2025年10月分公表	24日	経済構造実態調査(2024年四次集計結果)公表
11日	労働力調査(詳細集計)2025年7～9月期平均公表	〃	令和6年経済センサス-基礎調査(甲調査確報集計結果)公表
20日	人口推計(2025年6月1日現在確定値及び2025年11月1日現在概算値)公表	25日	住民基本台帳人口移動報告(2025年11月分)公表
21日	消費者物価指数(全国：2025年10月分)公表	26日	労働力調査(基本集計)2025年11月分公表
〃	小売物価統計調査(全国：2025年10月分)公表	〃	消費者物価指数(東京都区部：2025年12月分(中旬速報値)及び2025年平均(速報値))公表
〃	サービス産業動態統計調査(2025年9月分速報及び2025年6月分確報)公表	〃	小売物価統計調査(東京都区部：2025年12月分)公表
〃	第75回日本統計年鑑(令和8年)刊行	31日	統計トピックス「午年生まれ」と「新成人」の人口 -令和8年 新年にちなんで-公表
27日	住民基本台帳人口移動報告(2025年10月分)公表		
28日	労働力調査(基本集計)2025年10月分公表		
〃	消費者物価指数(東京都区部：2025年11月分(中旬速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(東京都区部：2025年11月分)公表		
12月5日	家計調査(家計収支編：2025年10月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目：2025年10月分)公表		
〃	消費動向指数(CTI)2025年10月分公表		
〃	小売物価統計調査(ガソリン)2025年11月分公表		
中旬	2025年科学技術研究調査結果公表		
19日	消費者物価指数(全国：2025年11月分)公表		
〃	小売物価統計調査(全国：2025年11月分)公表		

編集発行



総務省統計局

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp

ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

御意見・御感想をお待ちしております。